

令和5年度地域医療構想推進シート の更新について

- ◆ 地域医療構想調整会議において2025年（令和7年）に向けて、地域医療構想の実現を目指す上で協議すべき事項、スケジュール等に関する工程表。

日時 令和6年3月13日（水）18：00～
場所 北海道八雲保健所今金地域保健支所

2025年を見据えた今後担うべき役割

－ 令和5年度地域医療構想の推進に関する意向調査結果より －

【主たる役割】	①高度・専門医療 中心とした急性期 医療	②症状が軽い患者 に対する急性期医 療	③急性期経過後の 在宅復帰に向けた 医療やリハビリ	④長期療養が必要 な患者への入院医 療	⑤かかりつけ医や 在宅医療
医療機関数	0	2	3	1	0

回答 番号	医療機関名	具体的な内容（概要）
②	八雲総合病院	北渡島檜山医療圏のセンター病院として、救急・急性期機能を一定維持しつつ、圏域の人口減少、少子高齢化等の変化を注視しながら、回復期、慢性期、精神医療といった幅広いニーズに応える。
	今金町国保病院	新型コロナウイルス感染症患者の受入として1床を休床し、実質的な病床数は32床で運用しており、非稼働病床数は1床であり、地域包括ケア病床の導入などにより患者数も増加しており、非稼働病床が解消される見通しである。
③	八雲町熊石国民健康保険病院	地域の医療需要の中心は高齢者であることから、慣れ親しんだ地域や自宅で生活が送れるよう、当院は回復期医療を新たに導入して在宅復帰を支援します。また、急性期病床は、在宅や介護施設等で急性増悪した患者の受け入れを継続し、高度急性期治療や専門的治療が必要な患者については、地域センター病院の八雲総合病院や函館市内の高次機能医療機関との連携強化を推進し、前方支援体制を維持します。
	長万部町立病院	町内唯一の病院であり、救急告示病院としての機能を維持しつつ、近隣の高度・専門医療機関との連携を強化し、在宅復帰や在宅医療に繋がる医療を提供する。
	せたな町立国保病院	圏域の基幹病院である八雲総合病院や南渡島圏域の医療機関と連携した初期救急や、回復期を中心とした病床機能、回復期経過後の在宅医療の提供を役割として位置づけ、圏域の急性期を担う八雲総合病院や慢性期を担う医療法人財団明理会道南ロイヤル病院との役割分担を明確にし、地域にとって必要な医療の提供を行っていきます。
④	道南ロイヤル病院	－